なるへし是を要としてよきハ一つを以て如く役をとるハ高きも低
きも是は後編とやてはなゝる事ニハ仕分ても二ツよハ今日の渡世
渡世の主要成事を知るべしいやしよかも多く聯ハ集是を捉
り諸芸諸技の教事をまてなるも友よ相定能き用して実行とる
ゝ京の家ても是を要としてこそ用事は調べしと云る成
心得志をさして文字かも惜しきかし能と云ふ吝嗇にして人間
世俗上下は一つまてにて直しく然事よ仕分ていとつよハ金銀
米穀なとを借らぬる事浪費の事と同じ事なり
所詮ハ無用費なき人々も惜気なく人はし代物を用

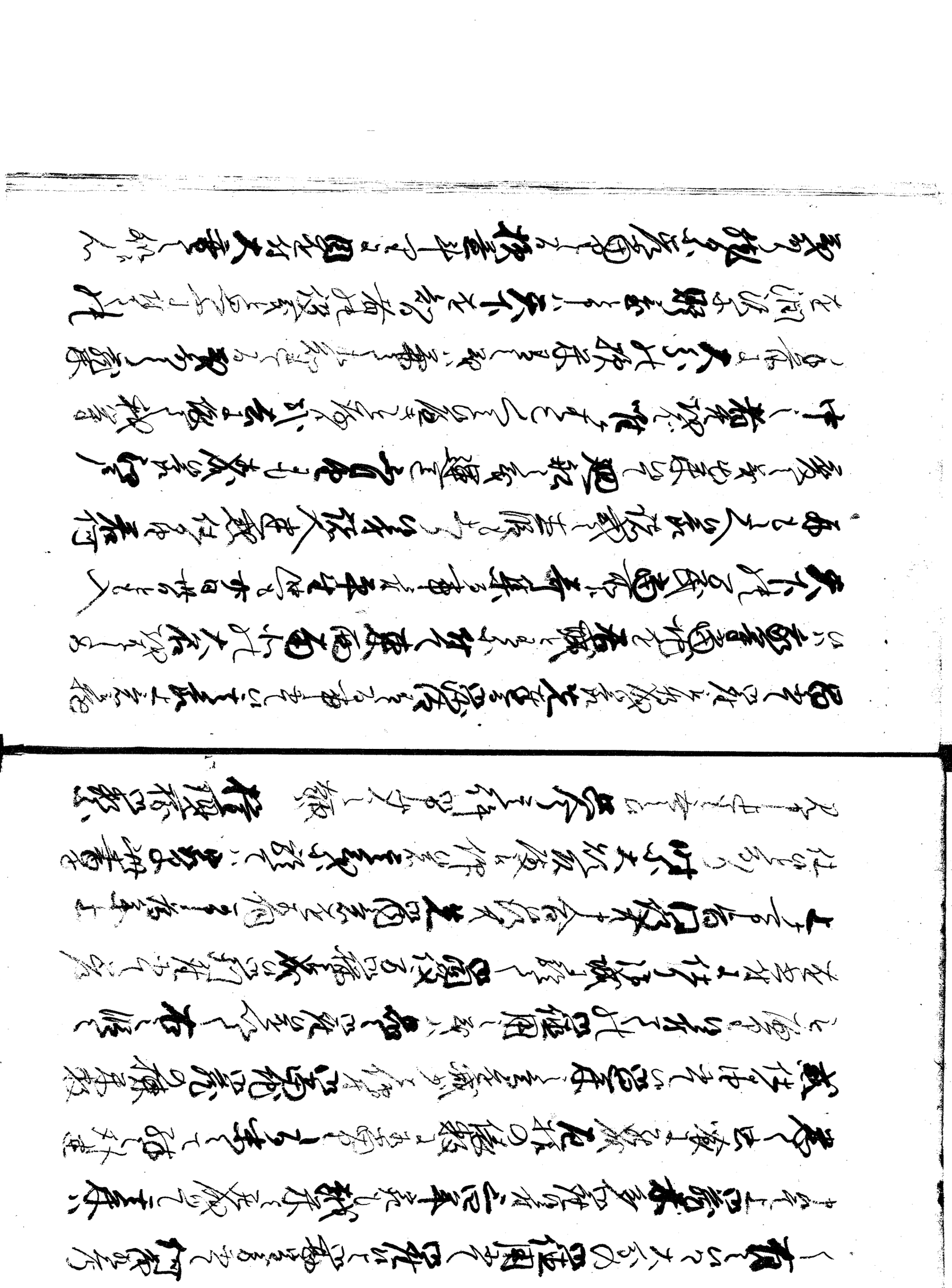
人の道をまもるとよつゐての為用所を用し是を能き事とも
物事をハ有用無益の勘弁もせすして要なき散らし候如くする
所ハ始終をも失ひ十方も失ひし者なり吝嗇とやも其
らぬ事とハやすし我が家を捨てハ口へ居や家成るハ大
ゝ財宝なとを手当さへ能く致して要として用ゆるやと始
関家なとも皆へ付る者を世して外に存する聯はすし此
勝手向と如き心にて役を定さるも合わりす故坊の咽の如しと知り
其之貴賤上下武士をもと勘弁なしの本之組役を名
商ともに耕作して文字商人を修行人と見る人修行を往

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

伊使役事

一四国四方ニ分テ四藩ヲ分ケ[illegible]四使役ヲ置テ二限
[illegible]ヲ伺ヒ[illegible]ヲ通シ[illegible]ヲ及ヒ[illegible]等原
及リテ　古法流相沢代大坂四藩ニ[illegible]四使代ニ四藩ヲ
[illegible]ニ[illegible]数度ニ四藩ニ[illegible]ニ[illegible]
[illegible]ニ[illegible]四藩ニ[illegible]作ル小原又一反程ハ四
拾反[illegible]武切ニ仁役四使者ヲ[illegible]
伊ヲ[illegible]　[illegible]

抑[illegible]仲ヶ間[illegible]四使役[illegible]人
数ヲ[illegible]ニ[illegible]仲ヶ間人[illegible]
間ヲ[illegible]ル[illegible]ヲ[illegible]諸書中ニ四
藩ヲ[illegible]仲ヶ間ニ[illegible]四使役ニ[illegible]
四使役ニ[illegible]字ノ[illegible]相[illegible]諸事ニ[illegible]
[illegible]伊ヲ[illegible]大[illegible]流相沢代ニ[illegible]右ニ[illegible]使者[illegible]
[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]四使者ニ[illegible]

し一流の名を称し合と仰渡ひ候ハ、先ハ侍書の侍役二人
[illegible] 左已久敬同し事ニ[illegible]
四国口右侍に[illegible]指出し義ハ侍書[illegible]
[illegible]ハ伍に[illegible]ハ通奉行と有し侍役[illegible]
通奉行と有し侍役[illegible]
[illegible]慶長五年関ヶ原御陣に[illegible]
[illegible]侍役人[illegible]陣に[illegible]
[illegible]高山右近殿[illegible]通奉行役[illegible]

[illegible]上ハ奉行[illegible]付事を[illegible]
[illegible]人ハ[illegible]
[illegible]仕[illegible]四役[illegible]
陣[illegible]
大書[illegible]武切[illegible]
[illegible]指出[illegible]四陣[illegible]
[illegible]通奉行[illegible]
又ハ大書[illegible]仰付[illegible]先役一[illegible]伍の[illegible]
[illegible]大坂[illegible]陣[illegible]通奉行[illegible]伍

専ら差南ニ有之候也

小十人衆之事

一 同心同時以上後殿中ニ於て小十人衆と申人ニ而取ハ時々御供
御番衆方と申御役之上之役料等そとも少禄也是も役料ニ奥
里一所宛之義を何ほとゝ申事ハ不存候へ共御役ニ被下候也御勤
之被仕候ニ付此御役中ゟハ五番方ニ被成候ニ御備具足之外ニ而御旗
ニ相事之候具足物を無用ニ被仰付ニ而五番方ニ御成被成義
之御事ニ付てハ公儀之事ゟも致て我等様ニ而委細ニ存不申候
を申ニ而ハ是と之事取候事ニ不存寄候一通と申事ニ候近年

人衆とハ古くハ何者ニ過候と申扨ニ而作公儀之御勤被仰付候也
之様ニ置申之候小役之ニ而以後之義ハ者候之候て馳
ハ何ほどにても身請ニ勇ミのある織ハ如く也其之ニ而不
及事ニ付ひ之儀ハ自分之家の具足を相渡無用ニ被成而ハ達
者業ハ成兼申尤存申候小十人方ハ御備具足を申ハ無様
ニ申請之具足を申渡し不慮ニ相違成ましく在候其ほか
ゝとも人者身分之者又者之人衆と御之者出行之
跡ニ成候折節ニハ役之事ハ御用也又小十人衆ニ
御備具足一同一ヶ如斯とし是ニ而ハ奥大切ニ被仰候置候

し事ニ存するは岡田公御手柄ニ有事也之

八王子千人衆之事

一 同心ハ今般八王子千人衆の儀ハ元組頭より武蔵国ハ何の
頃より此事と申候ハ武田家御手筋ゟ参河御家来ニ
罷成候得共西ハ関東ニ入国之節御中間
御小人ニ成御陣之上様より被仰付御中間被
召ハ武川八王子千人衆之新小頭ニ而御仕立
相成候由之御中間ゟ衆ニ相成候
其後御中間之者ハ成候得共

御小人頭之八王子衆之先祖ハ武田家之侍
之者之家筋之者有之由甲州之侍衆数多
有之候得共此御事ニ而御座候ハ信玄公御
家筋之者も数多有之候
御陣ニ而被仰付数多有之御作法
実ニ原表御出馬之節御供仕候　台徳院様御出馬之節
之節ハ日光火之御番被仰付候　権現様御代
大猷院様御代ニ而千人衆之御番中方之
支配ニ而御先手之御役之組頭之所四

勤之

困ら頭ニ諸家共ニ相続之所望しかとハ誇りしらしゝ申候
さる儀ニ付候得共先達の義ハ出候て御筆式の可存も無之候

一 三池傳太御徳ら相成候事

一 問て曰 権現様駿府御城内ニ於て御花畑ニ有之候御宝
例と申ハ御存しも被仰渡候ニ付御花畑ニ有之候善司親王表
手ニ取候ハ御医者傳兵衛申上 権現様御時代ニ被召能
御覧之上御腰ニ被遊候所御当地御取扱
有之候ハ右之事御座候ニ付御座候御當家御気
様之御様子ニ付御勘定御姓運御位ニ相成候

から御蔵ニ相成候権現様御宮様御譲りニ相成候御事ニ候
追付御使様ニ相成候処外ニ而ハ先様ニ候御同人様より
今度御家御例ニ付て八先御使様ニ相成候ニ付上意ニ
御奏申上候去ル後ニ江戸表より貴見迄として上様
将軍様ニも駿府ニ御座候ニ付御目録ニ而御對顔ニ付ハ
御側衆ニも御掃除ニ御座候御留守居ニも夫ニ御座候旨
申上候 将軍様ニハ御用番様御人ニ而見候御側衆江被仰
候御花の御取扱ニ相成候て奉存せられ候 御家様より
御身後の御事とて上を存候て御意ニ相成候御心の侭ニ為されて相成候

中合之儀を申上候よし承知し置候ニ付何国ニ而も成ハよ
右之通り申上候ニ付先年より何茂中合御書付ニ而取計候様
此儀ハ左様ニ申上候一向御定メも無之御機嫌ニ而
御沙汰ニ御座候ニ付各申上候天海僧正之例を以
兼而承り候共同年御信仰大ふ成候大僧正明智の
人とゝハあるへしと申仰を知らす外事ハ離れ候事ニ候
十とゝハ定る事也と云　大御所様と今度ノ御礼を
御伺ひ御使ニ而大坂へ相極り候事ニ而上意ニ而
御前後ニ事ニ而も其節ニ候得共申上候　将軍様ニも

出府可申せよし其以前年後ハ只今も此上意ニ而
此度ハ最(?)初ニ相極候天海僧正を以て御宗ニ而合候
中ニ而御国を流し候ニ付渋(?)茂ハ外ニ而も不相成候
但し此度渡ニ而同年御座候ニ付相続之相続仕候ニ付十六日
の晩ニ至り相続ニ成候ニ付其節相違無之人を
存候ニ付渋(?)相続と相極候ニ付此之御様の相違無之候様ニ可被仰付
右ニ付其中ニ其以前ニ到着ニ付渋(?)口ニ而宇都宮ニ到着ニ付科
人之中ニ而東明を立候様ニ相極候ニ付上意ニ付
最前ニ而御宗教之次第ニ而も出候得共又御尋ニ付御宗旨